

とくしまのがんばる企業を応援します

Tokushima

2023 October

No.483

企業情報とくしま

(公財)とくしま産業振興機構
www.our-think.or.jp

徳島の
企業

屋雲万次郎 有限責任事業組合 /

WORLD ON!徳島から世界へ。世界から徳島へ。



Contents

徳島の企業	02	徳島県よろず支援拠点	10
屋雲万次郎 有限責任事業組合		～ AI時代に情報セキュリティ～	
とくしま起業人	04	平成長久館セミナー一覧	12
● 一般社団法人 旅の菜		近日開催の平成長久館セミナー一覧	
● 萬川企画		事業紹介	13
事業紹介	06	とくしま経済飛躍ファンド 活用事例	
わくわくスタートアップ支援補助金		「タカラ株式会社」	
採択事業者の紹介		徳島クリエイターズ・ライブラリ	14
事業紹介	07	登録クリエイター紹介	
県内事業者のみならず、「パートナー		アジア展望～上海事務所だより～	15
シップ構築宣言」に登録しましょう!		「2023年 安徽省国際商協会大会」	
弁理士から一言	08	に参加	
AIの著作権について2		会館だより	16
		補助金・支援金情報	

Pick up News

関連記事 P2

究極のプロ職人×クリエイター集団が 徳島の魅力を世界へ広める

2021年6月に設立された屋雲万次郎。出資者全員がリーダーとして責任を持つ有限責任事業組合だ。メンバーには指物師・大工・宮大工・修繕士・藍師 染師・ビデオグラファー・グラフィックデザイナー・木材サービス調達管理という幅広いジャンルの30代、40代の職人とクリエイターが集まり、1人×8ではなく、さらに大きな相乗効果がある活動をしている。「徳島から世界へ。世界から徳島へ。」の思いを伺った。

徳島の企業

Tokushima

屋雲万次郎 有限責任事業組合

—地域活性×新たなコミュニティー×DESIGN—



富永康介



山口寿輝



樋口堅太



渡邊健太

屋雲万次郎のミッションは大きく6つある。1、徳島の魅力を広める 2、空き家対策・リノベーション 3、ツアーを企画し運営する 4、教育、文化 5、各専門分野が集い「新しい」を創る 6、県外、海外でも負けない個性を掲げている。個々に活動していたプロフェッショナルな職人やクリエイターが屋雲万次郎として多くのプロジェクトを運営し、徳島の魅力を世界中に知ってもらおうと走り続けている。インタビューは屋雲万次郎が2022年11月にオープンさせた木の香りが漂う徳島市両国本町のレンタルスペース「SomeTimes」で実施した。

—屋雲万次郎とは—

屋雲万次郎の「屋雲」は、日本の文化を深く愛し、世界に広めた作家・小泉八雲から、「万次郎」は、日本人として初めてアメリカ大陸に上陸し、日米の架け橋になったジョン万次郎にちなんでいる。日本に帰化し活躍した偉人と、国外に出て活躍した偉人の名前をつけることで、「徳島から世界へ、世界から徳島へ」という双方向に動いていこうという思いが込められている。

メンバーは8人。職人たちの技術は国外でも高く評価されている。一級技能士で木育活動を推進する建具職人で指物師の富永康介氏、阿波のヤングマイスターを取得し、台湾など国内外で活躍する宮大工の山口寿輝氏、建材や家具の色の再現度や模様など、修正したとは思えないほどの技術を持ち合わせる修復士の樋口堅太氏、藍の栽培から制作まで手がけ、アメリカ、ヨーロッパなど国内外で活躍する藍師・染師の渡邊健太氏、一級技能士で徳島の風土と木の特性を生かした良質な家づくりを行い、木の魅力や大工の技術を次世代に伝えている大工の坂本健

作氏、被写体をひきかてるような映像づくりを常に考え、スポーツ、ドキュメンタリー、ウェディングなど幅広い撮影技術をもつビデオグラファー木里優太氏、グラフィックを通して人と人をつなげるディレクション・デザインを行い、webサイトや映像のディレクターとしても活動するグラフィックデザイナー村田道弘氏、そして8人目として、ずっと声をかけていた木材サービス調達管理のプロフェッショナル小林憲司氏が2023年からメンバーに加わった。

—誕生までの道のり—

富永氏と坂本氏は2017年に徳島県から職人の交換留学でドイツに行った仲間でもある。富永氏は建具屋・指物師として伝統工芸を後世に伝え、幅広い世代の人達に自分たちの仕事を知ってほしいという思いがあった。坂本氏は高校などで生徒たちに木や大工の仕事を伝える現場に行き、富永氏自身も小学校などで、『木とふれあい、木に学び、木と生きる』大切さを伝える「木育」をテーマにした授業を行ってきた。ただ、2人だけの活動では、目の前にいる人達には伝えられても限界があるということをひしひしと感じていた。映像などで伝えることができたら、どれだけいいだろうかと。そんな中、二人の前に舞い降りたのが、村田氏だった。もともとデザインや広告などの仕事での繋がりがあった。村田氏は「職人たちの仕事内容がめっちゃめっちゃ面白く、しかも技として、すごく繊細でした。作るもの全てに魅了されていきました」と語る。ただ、若い世代だけでなく、多くの人たちが徳島の職人の技や伝統産業を知らないことに危機感を持った。「技や技術を持つ人すごい人たちが徳島にいるのに、あまり知られていないのはもったいない」

と、那賀高校などの授業に同行し、写真や映像を撮るようになった。村田氏は富永氏の相手の年代に合わせ変幻自在にコミュニケーションをとる授業に惹かれた。最初は興味がなさそうな生徒たちがだんだん話を聞くようになり、一人が携帯を置くと、徐々に全員が携帯を見ずに授業に集中し、実技で「木の大切さ」に気づいていく授業の流れに感動した。

だが、2020年、コロナが蔓延し始めた時に、それまで実施していた対面のワークショップや授業が全くできなくなった。この頃に行政が「コロナ危機突破プロジェクト」の募集を始めた。徳島県の教育プログラムの一環としてワークショップをリアルとモバイルで行うというDX要素を含めたものだった。大手旅行会社とも提携し、プロポーザルを見事勝ち取り、映像を通じて職人やクリエイターの職業紹介をするWEBメディア「KUSABIBITO TOKUSHIMA」を始めた。ワークショップもでき、オンライントーク形式をとったライブ放送、職人の繊細で高度な伝統技術を伝えるYouTube配信も行った。この時に屋雲万次郎の前身となる同じ志を持った仲間が「梁山泊」のように集まったという。プロジェクトは事業が終わると終了してしまう。グループを解散するのはもったいない。全員が多忙な本職を持っているが、有限責任事業組合という形で継続しようと屋雲万次郎を立ち上げた。

—スローガンは「三方よし」—

スローガンは「三方よし」。全員がいつも意識し、絶対に守ってやっていこうと話している。顧客や関わっている人すべて、そしてメンバーも幸せであることが必須だと。

屋雲万次郎としては、最初に、行政関係や木や木育に関わる多くの人と知り合



坂本健作



木里優太



村田道弘

おうと「とくしま木づかい県民会議」に入会した。行政や関係者と話をし、木材や木育のワークショップなども数多く行い、後世に県産材や徳島の伝統産業の魅力、職人の技術を伝え残していきたいことをしっかりと伝えた。「徳島すぎ」のPR動画をシリーズで作成した。全国から木材製品が集まる東京での展示商談会のために、県の展示ブースを制作した。徳島の山をコンセプトに県産杉を使い、山に雲がかかっている様子を藍染めで表現した。

屋雲万次郎の取り組みは、建てる、創るといった職人の技を活かし伝えるだけでなく、広がりを持たせるのも特徴だ。徳島県の「かんきつテラス」の図書室のウッドリノベーションを実施した時には、実践教育として高校生に仕事の現場に来てもらい、リノベーションにも携わってもらった。県産材を使って様々な表現ができるということを高校生に実感してもらった。

また、築46年の県営住宅をフルリフォームしたのが藍住町のさくら団地だった。リフォームだけではなく、お客さんに来てもらって「ガチから学ぶDIY」を行う参加型にし、YouTubeで生配信も実施。移住も組み合わせたイベントにしたいと、移住者を募って移住者トークセッションを生配信した。職人とクリエイターがいるからこそできる技だ。

メンバーは、お互いをリスペクトしながら和気あいあいとしている。定例会では、ざっくばらんにやりたいことや意見を話す。有言実行ですぐにチャレンジする。これは一例だが、豪華客船が徳島に寄港するときには展示や出店ブースがあるということも聞きつけ、何とか自分たちもブースを出せないかと、メンバーのネットワークを駆使して出店。「面白い、やってみよう!」と色々なことが実現している。

「自分たちも楽しく、他の人も楽しいというのが一番。真剣だけど、楽しいなと

思ってるものと、いやいや創るものでは全然違う。良いものは必然的に増えて広がっていく。しかもメンバー全員、運びがいい!」と語るメンバー。今年度中に、中学校で一学年全員159人を対象に、全員が参加型で家族にも「木」を意識してもらえらる仕込み作りをした授業も企画している。

徳島市の中心部両国本町にできた拠点「SomeTimes」

2022年11月には徳島市両国本町に新しいレンタルスペース「SomeTimes」がオープンした。「s」という複数形をつけて何度も利用して欲しいという気持ちを含めた。徳島すぎをふんだんに使用し、大工・宮大工・指物師の仕事と思いを込め、継手(木を長くするための手法)や仕口(木を直角につなげる手法)を使い心地の良い空間に仕上がった。徳島のマツで創られた扉は重厚感があり、それでいて繊細なモノに。床は、「足場板」という建築現場で足場になる板を使い、自分たちでビンテージ加工をして仕上げた。一枚板のカウンターも趣があり、バーカウンターにもなる。ママ友会、誕生日会、試飲会、YouTube配信の場など用途は色々だ。食のイベントが開催されたときにはこんなことがあった。満席で待つ人が多くいて机が足りないと言った。メンバーもその場に居合わせたので、「机が足りないなら、今からテーブルを作ります!」と、目の前で机を作るライブテーブル作りが始まった。お客さんにとって「テーブルを今作ってくれるんですか!?!」とうれしいサプライズとなった。自然とテーブル作りの周りに人が集まり動画や写真を撮ってSNSなどで発信してくれた。何と5分程度でテーブルが完成。「出来たてテーブルどうぞ!」と言って場を盛り上げた。

「SomeTimes」がある徳島市両国本町商店街振興組合の組合員にもなり、組合の依頼で今年のえびす祭りの「七福神パ

レード」で七福神となり、祭りを盛り上げる一翼を担った。中心街や地域の活性化に寄り添いながら、仕事としてやっているようなものがあると考えている。

これからに向けて

今後は、プロダクト商品や作品のようなものを作って海外にも出していきたいと着々と準備を進めている。また、ワークショップができるようなテーマパーク的なもの、キッズニアのニッチ版のようなイメージで大人も子どもも参加できる、例えば大工が教える木工作品作り、藍染め体験や、草木に触れて何かを作る、映像制作体験など、多くの人が一度にワークショップやものづくりを体験できるようなことも実現させたいと考えている。将来的には、両国本町を歩行者天国にして実施できれば、中心市街地の活性化にも繋がるのではないかなど、アイデアは無尽大だ。

同時に、中心部だけでなく限界集落でのリフォームやメンテナンスについて、自治体に回覧板のようなものを回して「いつでもメンテナンス可能!」と、困っている地域の方々が気軽にお願いできるような仕組み作りができれば役に立てることがあるのではないかと考えている。

「どんなお仕事でもふっていただいたら、アイデアを出すなり実装で動くなりいたします。よろしくお願ひします!」と結んだ屋雲万次郎。「徳島から世界へ。世界から徳島へ。」と徳島を盛り上げる力強い精鋭たちだ。

(文責：藪田ひとみ)

Company Profile

会社名 屋雲万次郎有限責任事業組合
所在地 〒770-0843
徳島県徳島市両国本町
1丁目21 幸栄ビル
設立 2021年6月
メンバー (順不同)
富永康介 山口寿輝 樋口堅太
渡邊健太 坂本健作 木里優太
村田道弘 小林憲司
Mail : info@yakumomanjiro.com
URL : https://yakumomanjiro.com/



一般社団法人 旅の葉

代表者/榎本峰子

徳島県阿波市吉野町柿原原113-6

TEL: 088-696-4003

URL: <https://www.tabinoshiori.or.jp/>

(2018年11月28日法人設立)



起業の経緯を教えてください

15年ほど福祉事業に携わってきて、福祉制度内でのサービスの不自由さにたくさん直面してきました。したいことがあってもできないことも多く、断るのがとても苦しかったです。少しでもどうにか出来たら叶えられたかもしれないことを、できないままその方が亡くなってしまい後悔したこともありました。そんな思いをする人が少しでも減るようになったらいいと思ったのが起業の経緯です。

御社の主な事業内容を教えてください

株式会社 TABIJI では、B型就労支援『ゆいたび』を立ち上げ、障害を抱えた方が働いています。一般社団法人旅の葉では、ユニバーサルツーリズムの実現ができる『民宿 旅の途中』の運営やカフェ『tabi no otomo』の運営をしています。

私は、今自分は福祉の現状を伝えていくというステージにいると思っています。そのため経営者だからできることで夢を叶えていきたいです。

起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

大変だったことは、やはり資金の調達です。福祉制度だけでは資金が足りないため自費のサービスを実施することが必要となってきます。福祉制度の中だけでなく、自分たちで稼ぐことを



増やしていかなければいけません。

良かったことは、自分が思っていた課題の解決に少し進めることができたことや、たくさんの人と関わることで自分と同じ思いをしている人がいると感じられたことです。また、『民宿 旅の途中』に宿泊してくださる方が、県内外問わずに来ていただき、喜んでいただけたのがとても嬉しかったです。

起業を志す方にメッセージをお願いします。

起業するということは不安に感じる方も多いと思います。ですがチャンスが来た時に、そこから第一歩を踏み出すための準備をしていくことが大切だと思います。また、雇用者と被雇用者は別物のようですが、お互いの気持ちを理解していける環境づくりが大切だと思います。良いことも悪いことも多くの人と共有し、頼ることも頼られることもできる環境はとても大切だと思います。そのため私は SNS などを通して良かったことも悪かったことも発信し続けています。

取材の感想

今回、榎本さんのお話を聞いて、人の想いの大切さを改めて考え直すきっかけとなりました。徳島だからできないと考えるのではなく、どのようにしたら実現できるのか、すべての人が生きやすくなるのか、このまま徳島の衰退を眺めているだけでいいのかなどお話を通して考えることができました。残りの大学生活、そして今後の人生において自分でできることを見出し行動に移していけるような人材になりたいと思います。

徳島駅前アミコにあるカフェは、ネイル・占い・フォトスポットなどたくさんの取り組みをされており、分身ロボットでの接客など、どんな人も自分らしく輝けるとも素敵な場所でした。ぜひ通いたいと思います。

(取材：徳島文理大学 岸 彩音)



創業コーディネーター
里見和彦より

榎本代表は、就労支援を行う(株)TABIJIも経営しながら、ほぼ同時期に障害者も利用できる宿をオープン直後にコロナ突入で・・・と苦労の連続でした。その苦労の状況もSNSで発信し、様々な方の共感・協力を得て今回夢のひとつであるインクルーシブカフェを実現させました。その考動力はなかなか真似することは出来ないまでも、たくさんの方へ刺激・影響を与えています。アミコにオープンした夢のカフェへ一度お越しください。

萬川企画

代表者/萬川 奨

徳島県吉野川市美郷字下城戸222-1

電話：090-6054-0740



「HOSTEL OE」管理人業務も兼務しています。

「HOSTEL OE」は、11番札所藤井寺から近く、休憩がてら宿泊して行くお客さんが多く、1階は飲食店(焼肉青)、2階はシルクスクリーン工房・コワーキングスペース・ラウンジ、3階客室、4階マンスリーブラブルームとなっています。宿泊者はお遍路さんを含めて外国人の方も多です。「地域おこし協力隊」として3年間吉野川市の観光分野で活動し、最終的に地元企業の方々の協力もあり、現在の形となっています。

所在地：〒776-0010 徳島県吉野川市鴨島町鴨島字神島485-4 電話：0883-26-0117

創業のきっかけを教えてください。

大学時代には、国際協力論を受講、国外のまちづくりに興味を深め、2回生の時、インドネシアで2週間のワークキャンプに参加、8か国から集まった学生と地元の方々と協力し、祭のプロモーションを行ってきました。また、一年間の休学中は、ベトナムで飲食店、ホテルのマネジメント会社でメニューやチラシ、SNSでプロモーションを行ってきました。

その後、美郷の“人と自然”に惹かれ、令和2年4月に吉野川市の地域おこし協力隊として、吉野川市民の皆さんと意見交換、数か月前から美郷内の事業所に挨拶をしていく中で、地域がアピールすべき特産品や人を出し切れていないことが多いことに気づきました。また、人口900人を下回る美郷のイベントの継続性が薄れている中、少人数のツアーや美郷でしか体験できないサービスで関係人口を増やしていかないと地域の存続が難しいと判断したことから、地域の活性化のため、個人事業主として令和2年4月20日に開業を決意いたしました。

御社の事業内容を教えてください。

美郷の標高350mの場所にある蔵を改装し、映像制作可能なスタジオ“美郷AIR”を開設し映像制作業に取り組んでいます。

■事業エリア

- ・吉野川市周辺地域
- ・徳島・香川を中心とした事業所

■対象顧客

- ・新しいサービスを始める飲食店、その他事業所(酒蔵・宿泊業者等)
- ・県内外の映像制作者・写真家・デザイナー等
- ・SNS、YouTube等で発信に努める(地方で暮らしたい方、働きたい方)

事業1：プロモーション動画制作(出張撮影可)
営業日 週3日 9:00~18:00(撮影時間による)
機材・設備 映画用カメラ・空撮用ドローン等
対象 主に、飲食店や会社・団体のPR動画を撮影&編集

事業2：スタジオレンタル

令和2年11月レンタル開始

スタジオ名 美郷AIR

営業時間 9:00~18:00

駐車場 6台 広さ 19.83㎡

機材・設備 映画用カメラ・照明・マイク・スクリーン・デスクセット

このほか、お客様の声を活かしたツアー企画にも携わったり、キッチンカー事業(ハンバーガー等)も行っています。

吉野川市地域おこし協力隊時代は、観光をテーマに活動してきました。美郷ほたる館を基点とした観光資源の構築や発信、梅酒特区でもある美郷地区の情報発信や特産品の販路開拓のほか、観光ツアーの企画や「美郷MARKET」などの各種イベントにも関わってきた実績、このほか、2022年10月にオープンした「HOSTEL OE」の管理人を夫婦でしており、旅行や観光業界にもつながりが強くなったこともあり、観光がらみのお仕事をいただいたり、紹介していただいたりしています。具体的にはこちらを参考にして欲しいと思います。もちろん、観光以外も対応可能です。<https://www.youtube.com/watch?v=mysCvT1pUI>

JR 四国地域観光チャレンジツアー 徳島大学

美郷チーム Report ~吉野川市山川・美郷~

起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

事業内容の特性上、撮影は、“一発勝負”であることから、お客様との事前の打ち合わせ(お客様の制約の把握等)はもちろん、事前準備がとにかく大変です。また、想定外のことも起こることもあり、バタバタすることも多く、未経験の業種、分野、知らない場所でのお仕事には、とても気を遣います。ただ、その場、その場を精一杯、取り組むことで、とても勉強になることも多く、映像として記録に残る仕事という点で誇れることは、やって良かったと思える点です。

起業を志す方へメッセージをお願いします。

同じく起業している先輩や仲間が周りにいる、気軽に話のできる、相談できる環境に身を置くことが非常に大切だと思っています。そうすることで、自分の考えていることを伝え、理解してくれる人、協力してくれる人を増やしていくことで、見えない力となって、皆さんの事業に、皆さんの想いをサポートしてくれる可能性が高まってきます。



創業コーディネーター 伊勢貞雄より

萬川さんは、吉野川LocalCreator(吉野川市民の任意団体 約100名)、美郷の事業所の方々と交流を通じて、美郷、吉野川市の魅力を外部へと発信、その輪を外部へと広げていくことを通じて、つながりを深めて行く事業をしていると、私は捉えています。そのつながりは、少子高齢化はもちろん、過疎化が進む地方都市において、大きな武器となると思われます。その武器を、もっと鋭く、丈夫にしていってほしいと思います。

わくわくスタートアップ支援補助金 採択事業者の紹介

当機構では、地域社会の問題解決や発展を目指して新たな事業を始めようとする創業者に対し、係る経費の一部を助成する「わくわくスタートアップ支援補助金」を実施しています。

今年度、新たに5者を採択しましたので、各事業者の事業内容や意気込みを御紹介します。皆様もあたたかく応援くださるようお願いいたします。

くらすぴっつ株式会社

"未来への不安を希望に変える"を理念に、アメリカで主流のABA療育を軸にした発達支援事業所を8月にオープン!(藍住町)

代表が上京して4年間で学んだノウハウと、日本では数少ない行動分析士による研修やコンサルテーションの導入により質の高い療育を行います。

楽しく通っているうちにどんどんできることが増えて、自信がついて、自分らしくハッピーに!!

連絡先 電話088-679-1146 mail info@classpits.com



株式会社C'est bon Jambon

EUのアニマルウェルフェア基準に準拠した徳島大学豚舎で個別飼育された豚を原料に、トレサビリティを確保した徳島大学ハムを販売しています。

阿波和三盆糖や鳴門天然塩を使用して、長期熟成製法で製造しているため、豚肉本来の歯応えと風味を味わえます。

飼育から製造まで一貫製造した他に類をみないハムをお届けします。

連絡先 C'est bon Jambonのホームページ
<https://cbj.co.jp/> お問い合わせフォームから



株式会社cotocoto

「食であなたのそばにWAKUWAKUを」を理念に、乳幼児から成人までの食習慣を管理栄養士を通じてそれぞれご自身に合った方法を見つけていくといった食育事業です。

企業様や自治体様に従業員向けの栄養相談、アスリート向け、離乳食など専門の管理栄養士が食習慣をサポートします。

連絡先 株式会社cotocotoのホームページ
<https://cotocoto.life> お問い合わせフォームから



株式会社澄海

(株)澄海(スカイ)は移住者がSDGsの町・美波町で起業。コンセプトは『もったいないをおいしい』海藻を食い荒らす魚(食害魚)、あまり利用されない魚(未利用魚)を使ってすぐ食べられる商品を製造販売。ミッションは『①魚を食べて徳島の海を回復②町の遊休施設を活用③地元雇用創出④漁師さんの収入アップ』

連絡先 〒779-2303 徳島県海部郡美波町恵比須浜字田井266番地
e-mail taniguchi-tsuyoshi@sakanaya-sky.com
tel 080-9217-1076 取締役 濱隆博



合同会社遍路イレブン

四国遍路は日本が世界に誇る文化遺産ですが、近年、外国人遍路急増に伴い、現地での受け入れ態勢不備が生じ先代より継承してきた貴重な遍路文化遺産、地域社会環境等に異変をもたらすことが危惧されています。

遍路イレブンは、「歩き遍路を支援する付加価値の付いた事業」を展開し「歩き遍路」「地域住民」「遍路宿経営者等」三方一両得に向け健全に会社経営を目指します。

連絡先 776-0033 吉野川市鴨島町飯尾1484番地1
email : aquahenro@gmail.com



県内事業者のみなさま、 「パートナーシップ構築宣言」に登録しましょう!



(パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言式)

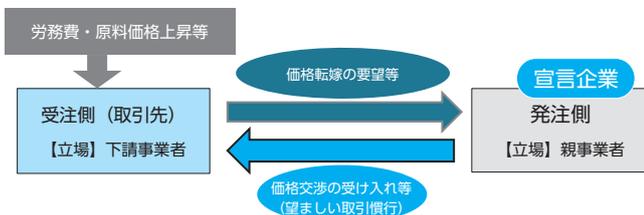
徳島県では、国（内閣府・中小企業庁）が官民連携で推進する「パートナーシップ構築宣言」の普及・促進、県内事業者における適切な価格転嫁の促進や賃上げにつなげることを目的として、令和5年8月16日に経済団体（7団体）、労働団体、金融団体（2団体）、国（4機関）と、共同宣言を行いました。

～共同宣言の参画15団体・機関～

- 【経済団体】 徳島県商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島県経営者協会、（一社）徳島経済同友会、徳島県中小企業家同友会、（公財）とくしま産業振興機構
- 【労働団体】 日本労働組合総連合会徳島県連合会
- 【金融団体】 （一社）徳島県銀行協会、徳島県信用保証協会
- 【行政機関】 四国経済産業局、四国運輸局、四国財務局徳島財務事務所、徳島労働局、徳島県

そこで今回は、この「パートナーシップ構築宣言」をご紹介します。

1. パートナーシップ構築宣言とは 制度イメージ



昨今、エネルギー価格や原材料価格等の高騰が長期化し、厳しい経営環境が持続する中、コスト増加等の負担を下請け業者に強いる「しわ寄せ」が懸念されるとともに、成長と分配の好循環に向けた賃上げを実現するため、「適正な価格転嫁」を行える環境整備が求められています。

そこで政府および経済・労働団体は令和2年5月、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄等に取り組む事業者が、「発注者」側の立場から「代

表権のある者の名前」で自主的に宣言を行う「パートナーシップ構築宣言」の仕組みをスタートさせました。

この宣言を行う企業が増えることで、取引先と価格転嫁等について気軽に話し合える社会につながるとともに、適正な価格転嫁と賃上げの動きが促進されるものと期待されています。

なお、宣言には以下のことを含む必要があります。

▼宣言に含まれる重点取組事項

- ・サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携（オープンイノベーション、IT実装、グリーン化、等）
- ・下請企業との望ましい取引慣行（「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組むこと（重点5分野（①価格決定方法、②型管理の適正化、③現金払の原則の徹底、④知財・ノウハウの保護、⑤働き方改革に伴うしわ寄せの防止）に取り組むこと）

2. パートナーシップ構築宣言のメリット

【メリット1】 宣言したことをアピールできる

「宣言」した企業の取組を「見える化」するため、専用ポータルサイト上に宣言企業が公表されます。また、専用のロゴマークを使用でき、名刺や自社サイトなどに掲載することが可能です。

【メリット2】 一部補助金の加点措置を受けられる

ものづくり補助金や事業再構築補助金など、一部の国補助金において加点等、優遇措置を受けられます。

【メリット3】 SDGsの取組に繋がる

「宣言」の取組を実践することで、6つの「SDGs」（持続可能な開発目標）に取り組んでいることとなります。

3. パートナーシップ構築宣言の提出・掲載について

以下の専用ポータルサイトから宣言を登録できます。

専用のポータルサイト：<https://www.biz-partnership.jp>

（ポータルサイトアクセス用 QR コード→）



お問合先：（公財）全国中小企業振興機関協会
TEL：03-5541-6688

4. 今後について

徳島県では、共同宣言を行った関連機関・団体とともに、県内事業者における「パートナーシップ構築宣言」の登録を広く呼びかけております。また、県内における制度周知による認知度向上、関連する支援情報やアンケート結果等の周知、宣言企業への支援策の導入等の取組を強化してまいります。この機会にぜひパートナーシップ構築宣言をご活用ください。

（徳島県のパートナーシップ構築宣言に関するページはこちら）



AIの著作権について2



和田特許事務所
弁理士 和田 隆滋

弁理士は敷居が高いと感じることもありますが、身近な存在であり随時相談を受け付けております。ぜひお気軽にお越しいただければと思います。

1.はじめに

皆様、こんにちは。弁理士の和田隆滋（わだりゅうじ）です。知財に関する情報を皆様にお伝えさせていただいております。

さて、第17回目は、前回の第16回目にお話ししました「AIの著作権」についてお話をさせていただきます。

2.AIについて

ChatGPTに代表されるAIチャットボットがプロンプトに回答し、文章、画像、動画等のコンテンツを生成するシステムを生成AIと称しています。ChatGPTは、2022年11月に公開され、2023年3月にはGPT4が公開されました。誰でも無料で利用することができるため、皆様も一度は利用したことがあるのではないのでしょうか。Microsoft BingにてGPT4を利用することができます。

3.AIの著作権について

前回5月に記事を執筆した時期は、生成AIの著作権に関して議論が始まったばかりでした。4か月が経ちましたが世界中で、益々活発な議論が行われています。現時点において、生成AIの著作権に関して、文化庁と我々弁理士会の見解について概要を説明させていただきます。

(1) 文化庁の見解

- (あ) 生成AIの著作権に関しては従来の著作権法をあてはめる。
- (い) AIの開発、学習段階での他人の著作物の利用に関しては著作権法第30条の4があてはまるため、法の要件を満たす限り違法性はない。

(う) 生成AIの利用に関しては、従来の著作権侵害の要件である類似性と依拠性を満たすかどうかで判断する。

(え) 生成AIの著作物に関しては、AI利用者の行為が創作的寄与にあたる場合は著作物に該当する。

という見解を示しました。特筆すると(え)の生成AIの著作権者がAI利用者たりえるということまで言及したことは評価に値する見解であると思われます。詳細は、<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/93903601.html>をご確認ください。

(2) 日本弁理士会の著作権委員会の見解

(あ) 現行の著作権法では、予見可能性と判断明確性が低い。裁判所でなければ著作権が成立しているかどうかや著作権侵害が成立しているかどうかを判断できない。

(い) 生成AIを開発する事業者に学習内容の開示をしてくれるかという課題がある。

(う) 生成AIの進化の速度を考えると現在の著作権法の考え方では現実的ではない。

(え) 米国の著作権法は、AI生成物には著作権が発生しないという説が優勢である。

(お) AIをツールとして使用したにすぎない場合は、著作権が発生する余地がある。例えば、人間が描いた絵をベースとしてAIによるノイズ除去や色調調整を行った場合において著作権が発生する。

という見解を示しました。生成AIの活用にはリスク回避のために創作過程の記録が必要となることが述べられました。私個人の判断ですが、弁理士会としてかなり踏み込

んだ見解が示されたと判断しています。

4.さいごに

上述しましたが現在、世界中で生成 AI の著作権に関して議論が進められています。生成 AI の先進国である米国において、現在も係争中ですが、米首都ワシントンの連邦地裁は、8月18日に AI が創作した芸術作品は米国内法において著作権で保護されないという判決が下されました。今回の判決はワシントンの連邦地裁での判決であり、日本国にあてはめると地裁での第一審での判決となります。おそらく、連邦最高裁判所まで争われることになり生成 AI の著作権についての裁判所の考え方が示されることとなります。生成 AI の著作権の争いに関しても、我が国においても今後増加していくものと思われれます。こういった AI

の著作権の裁判が行われ、積み上げられることで、裁判所による AI の著作権に関する考え方が形成されていくこととなります。

AI の著作権に関してお困りの際は、我々弁理士をご活用ください。

著者略歴

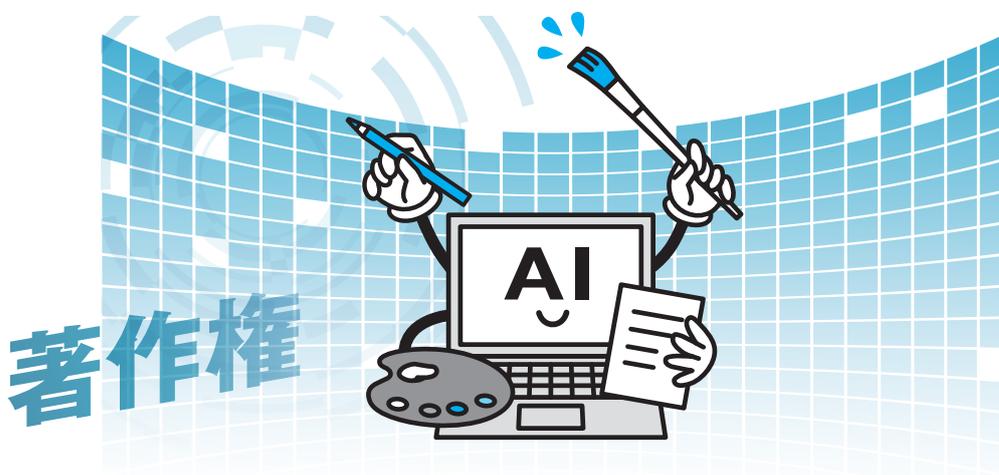
日本弁理士会四国支部

支部長 **和田 隆滋** (弁理士登録番号19945)

1977年 徳島市生まれ

徳島大学 大学院 工学研究科 卒 (2004年)

地元の半導体関連会社に入社 (2004年4月)。生産技術部で7年間従事し、その後、東京の特許事務所を経て、徳島において和田特許事務所を開業 (2016年9月)。



独立行政法人工業所有権情報・研修館 事業

INPIT徳島県知財総合支援窓口のご案内

INPIT徳島県知財総合支援窓口では、知的財産の専門相談員(窓口支援担当者)が知的財産(特許・実用新案・意匠・商標・ノウハウ・著作権等)の取得や活用についてアドバイスを行う無料相談を実施しています。知的財産を活用して、皆さんの事業を活性化してみませんか?とくしま産業振興機構・徳島県よろず支援拠点などの支援機関と連携して、皆さんの事業展開を支援します。こんなこと相談しても大丈夫かな?と思わずに、お気軽にご相談ください。もちろん無料で、弁理士・弁護士にも定期的に相談もできます。

INPIT徳島県知財総合支援窓口

窓口支援担当者 / 青木 幸司・岩田 治三・依田 司・井上 修・河端 繁勝

〒770-8021 徳島市雑賀町西開11-2 徳島県立工業技術センター2階
一般社団法人徳島県発明協会内

<http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tokushima/>

相談無料
秘密厳守

皆さんからのお電話お待ちしております!

☎ 088-669-0158





～AI時代に情報セキュリティ～



吉村 健太 徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

ITコーディネーターの吉村です。徳島県よろず支援拠点では、IT活用・人手不足対応のコーディネーターとして週1回程度勤務しております。

2019年度より徳島県よろず支援拠点のコーディネーターを拝命し、様々な内容のご相談をお受けしてきました。

今回はIT化社会の中で切っても切り離せない「情報セキュリティ」についてお話したいと思います。

情報セキュリティは、デジタルな情報を守るための対策のことです。これは、コンピュータやネットワークを通じてやり取りされるデータや情報を、不正なアクセスや損失から守るための取り組みです。

簡単にいえば、情報セキュリティはデジタルな情報を安全に保護し、信頼性を確保するための取り組みです。

情報セキュリティの必要性

情報セキュリティは現代社会において重要性がますます高まっています。

1. 個人情報の保護

個人情報は氏名、住所、電話番号、銀行情報など、個人を特定できる情報のことです。これらの情報が漏洩すると、不正利用や詐欺などのリスクが高まります。情報セキュリティは、個人情報を保護し、その悪用を防ぐ役割を果たします。

2. 組織の信頼維持

企業や組織は、顧客や取引先から提供される機密情報を保護する法的義務があります。これにより、信頼を築き、長期的なビジネス関係を築くことができます。情報漏洩や不正アクセスが発生すると、信頼が崩れる可能性が高まります。

3. 法的義務の遵守

個人情報の取り扱いに関する法律や規制が存在します。これに違反すると、罰金や法的措置が課される場合があります。情報セキュリティ対策を実施することは、法的義務を遵守す

るために非常に重要です。

4. ビジネス継続性の確保

システムやデータが攻撃や災害によって損失を受けると、業務の停滞や営業活動が中断する可能性があります。情報セキュリティ対策は、これらのリスクを最小限に抑え、ビジネス継続性を確保します。

5. 競争力の維持

セキュリティの確保は、企業や組織が競争力を維持するために不可欠です。顧客や取引先はセキュリティを重視し、安全に情報を提供できる企業を選びます。情報セキュリティの強化は、競争優位性を築く一環となります。

情報セキュリティは、個人や組織がデジタル環境で安全に活動するために欠かせない要素です。個人情報の保護や組織の信頼維持、法的義務の遵守など、多くの重要な理由があります。情報セキュリティ対策を強化することで、安心して情報を取り扱い、信頼を築くことができます。

情報セキュリティの基本原則

1. 機密性 (Confidentiality)

情報は正当なユーザーにのみ限定されるべきであり、不正なアクセスから保護されなければなりません。例えば、個人情報や機密データは、関係者以外がアクセスできないように保護されるべきです。この原則を守るために、アクセス制御や暗号化などの手段が使われます。

2. 完全性 (Integrity)

情報は正確であり、改ざんされていないことが保証されなければなりません。情報が改ざんされると、その信頼性が損なわれ、誤った判断や意思決定が行われる可能性があります。ハッシュ関数やデジタル署名などの手法を使って情報の完全性を保ちます。

3. 可用性 (Availability)

情報は必要なときに利用可能でなければなりません。システムの障害や攻撃から迅速に回復できるようにするための措置が必要です。例えば、バックアップシステムや冗長化など

が含まれます。

以上が情報セキュリティの3大要素といわれます。これらの基本原則を守りバランスを取ることによって、情報セキュリティは確保され、デジタル情報が安全に取り扱われることが保証されます。



情報セキュリティに取り組むためには、次のような対策を実施することが重要です。

1. リスク評価と対策の計画

- まず、どのような情報が重要で、どのようなリスクが存在するかを評価します。
- その後、特定したリスクに対する具体的な対策を計画します。

2. セキュリティポリシーの策定

- 組織内での情報セキュリティに関する基本的なルールや方針を文書化し、全員が共有できるようにします。

3. アクセス制御

- 各ユーザーや役職に適切なアクセス権を与え、不正なアクセスを防ぐための制限を設けます。

4. パスワードポリシーの実施

- 強力なパスワードの使用を奨励し、定期的な変更を促します。また、2段階認証の導入も考えましょう。

5. ファイアウォールの設置

- ネットワークを保護するためにファイアウォールを導入し、不正なアクセスを遮断します。

6. セキュリティソフトウェアの利用

- ウイルス対策ソフトやマルウェア対策ソフトを導入し、コンピュータを保護します。

7. 定期的なバックアップ

- データの定期的なバックアップを行い、災害やデータ

の損失に備えます。

8. 従業員教育とトレーニング

- 従業員に対して、フィッシング詐欺やセキュリティ意識の高まりを促すトレーニングを実施します。

9. セキュリティの監視と検知

- 不正アクセスや異常な活動を監視し、早期に対処できるようにします。

10. 更新とパッチの適用

- システムやソフトウェアを最新の状態に保ち、セキュリティの脆弱性を修正します。

11. セキュリティのアップデート

- 組織のニーズや環境に応じて、セキュリティ対策を定期的に見直し、必要な改善を行います。

12. リスクのモニタリングと評価

- 変化するリスクに対応するために、定期的なリスクの評価を行います。

13. 緊急対応計画の作成

- セキュリティインシデントが発生した場合の対応手順を明確にし、迅速な対応を行えるようにします。

これらの対策を組み合わせ、情報セキュリティを強化しましょう。情報セキュリティは持続的な取り組みが必要であり、組織全体での意識を高めることが重要です。

いかがだったでしょうか。

上記文書は文書生成 AI を活用して文書を作成し、内容に不正確な事柄がないかを確認し多少手を加えたものです。この先ますます AI が活躍する時代が来ます。うまく付き合いうまく活用するために、上記のような情報セキュリティに対する十分な理解も必要ではないでしょうか。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階

電話 **088-676-4625**

HP <https://yorozu-tokushima.go.jp/>

受付時間

【平日】 9:00～17:45

【休日相談会】

●第2・第4日曜日 10:00～17:00 徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日 10:15～17:00 アミコビル9F

(最新情報を確認して下さい)



価格転嫁に関する経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。

近日開催の平成長久館セミナー一覧

セミナー名	開催日時	場所	概要	受講料
経営品質スタートアップセミナー	11月7日	とくしま産業振興機構	本セミナーは、中小企業診断士であり経営品質協議会認定セルフアセッサーでもある山本知美氏をお招きし、長期的に価値を提供し、社会や顧客から支持され続けるためには何が必要なかを「顧客価値経営ガイドライン」の解説を交えながらお話いただきます。	無料
価格転嫁サポート個別相談会	第1回： 11月13日 第2回： 11月27日	とくしま産業振興機構	価格交渉に関する基礎的な知識や原価計算の手法の習得支援を通じて、下請中小企業の価格交渉・価格転嫁に関するご相談をお受けします。	無料
事業再構築補助金セミナー	11月14日	オンライン、 とくしま産業振興機構	令和5年度からの新しい「事業再構築補助金」の概要やポイント、申請時の注意点などを解説します。	無料
企業活動とSDGs ～SDGsの実践に向けて～	11月15日	とくしま産業振興機構	本セミナーは、人にも環境にも優しいスキンケア商品を中心に展開している松山油脂株式会社が、2020年に佐那河内村にオープンしたファクトリーショップ「山神果樹菓草園」での取り組みを通じて、ブランディングやSDGsの事例についてお話いただきます。セミナー後半には講師を交えたディスカッション形式で質問にお答えします。	無料
小規模事業者持続化補助金活用セミナー	11月17日	オンライン、 とくしま産業振興機構	小規模事業者持続化補助金の概要や申請書作成のポイント、注意点等を解説します。	無料
インボイス制度 攻略セミナー・相談会	11月17日	徳島市産業支援交流センター (アミコビル9階)	令和5年10月1日から開始したインボイス制度。インボイス発行事業者になるための手続き、経過措置のことなどインボイス制度について詳しく解説します。	無料
資金繰り個別相談会	11月21日	オンライン、 とくしま産業振興機構	新型コロナウイルス感染症対策で借入れたゼロゼロ融資をどうやって返済すればよいのか。ゼロゼロ融資に対する対策はないのかなど、また、ゼロゼロ融資に限らず資金繰りについて、すべてのご相談をお受けします。	無料
メタバース×ビジネス 活用セミナー	11月22日	オンライン、 徳島経済産業会館3階	年々市場規模を拡大する「メタバース」について、一体どういうものなのか、ビジネスにどう活用していけばよいのかを、見識ある講師の説明を交えて学びます。	無料
起業力養成講座	オンデマンド 視聴申込み は随時受付	オンライン (徳島大学での講義動画配信)	実業家やベンチャー起業家、銀行員、中小企業診断士といった各分野の専門家が創業に必要な基礎知識を解説します。	2,000円 (初回受講時のみ)

■ 企業力の強化、企業や組織の核となる「人財」の育成を支援

デジタル技術を活用した 企業の人財育成・新事業展開を目指す

とくしま経営塾
平成長久館 × Digital 長久館

セミナーについての詳細は、
こちらのページで御確認ください。



平成長久館メールマガジンのご案内

とくしま経営塾「平成長久館」では、開催するセミナーのご案内などを掲載した「長久館メールマガジン」を発行しています。

次のQRコード先よりお申し込みいただけましたら、ご登録情報へ開催セミナーのご案内をさせていただきます。

皆様のお申し込みをお待ちしています。

お申し込みはこちら →



とくしま経済飛躍ファンド活用事例 **タカラ株式会社**

代表取締役 橋本 公起 徳島県名西郡石井町高原字中須16-1 TEL:088-674-4488 FAX:088-674-8111

1 ファンドを活用した販売開拓支援事業について教えてください。

名称【防災関連展示会出展事業】

2021年より弊社が取り組んでいる『防災』をテーマとしたLED照明器具の販路開拓を目的として2022年に大阪と福岡の2会場の展示会へ出展しました。防災協会から防災製品等推奨品の認証を受けた『ストレートライト』をはじめ、防災関連商社、消防関係者、自治体関係者等に自社製品をPRし、代理店やエンドユーザーの獲得を目的として出展しました。

『ストレートライト』の一番の特徴は小さくてハイパワーだということです。ヘッド部分は850gです。軽量なので、女性も簡単に組み立てができ、三脚を立てれば高さ3.5mから照明ができます。この高さから明るい光を放つ商品は他にありません。「こんなに小さいのにこれだけ明るい!？」という声を多数いただきました。弊社はもともとスポーツ関連の照明器具では、ゴルフ練習場を中心とした実績は多数あります。これらは大きくて強い光を出すというものでした。グラウンドの照明で量販店に売っているような形の照明ではなく、水銀灯でいうと400W相当の照明器具を作れないかと相談をいただき『ストレートライト』が誕生しました。弊社の社長が岡山に出張に行ったときに、甚大な被害が出た平成30年7月豪雨の話になり消防関係者から「災害時にこのライトは役立つのでは」というお話をいただき、今まで考えてもいなかった「防災用の照明」としても活用できると意識し始めました。スポーツ関連は代理店や販路のパイプはありましたが、防災関係は新規で、どこを頼ったらいいいのか分からず販路を検討する必要がありました。防災関連の展示会に出展すれば、出会いの場所として商品の販売に繋がると考え、ファンドを活用して出展を行いました。おかげさまで2会場とも関西圏、九州圏での代理店確保や商社以外でもご購入いただきました。有事の際に部屋の真ん中に置き360度明るくする『オムニLEDライト』も作りました。



2 なぜ西日本地区防災関連の展示会なのでしょう。

弊社は東京に営業所があります。最初に展示会に出すなら関西だと。西日本の中国、九州エリアでは豪雨災害などもあり、防災関連商品のニーズが高いと判断しました。営業所がない関西と九州である程度防災商品として販売いただける代理店を開拓できれば、営業所がある関東は最初に展示会に出さなくても独自で繋がりが持てると思ったからです。結果として、四国外に代理店を確保できたのは大きな成果でした。

3 これからの展望・目標について教えてください。

展示会場で「三脚で立てるのは足場の安定した所は良いけども、不安定な所は使いにくい。オプションパーツがあれば汎用性が広がる」という御意見をいただきました。そこで設置場所を選ばないクランプタイプの『ストレートライト カスタムG』を開発しました。「建築分野やイベントにも使いたい」という声もありましたので、今年度はファンドを活用して、イベント設営と、建築設備関係の展示会に出展します。ファンドは力強い後押しになりました。防災だけでなく建築関係、イベントなどにも販路が広がります。今後は関東、中部、東北エリアにそれぞれ影響力のある代理店の確保を目標に営業活動を行います。これからも新しい商品開発をする時も相談させていただきたいです。

とくしま経済飛躍ファンド事業では、他にも多くの県内事業者の新商品開発・展示会出展を支援してきております。当事業についての詳細は、こちらの連絡先で御確認ください。
TEL 088-654-0103
機構ウェブサイト
<https://www.our-think.or.jp/305385/>



TOKUSHIMA CREATORS LIBRARY

徳島クリエイターズ・ライブラリ

TOKUSHIMA CREATORS LIBRARYは、徳島県内のクリエイターを掲載・データベース化したウェブサイトです。多くのクリエイターの登録を促すことにより、商品開発やプロモーションに当たり、県内クリエイターの技術や創造力を探している企業や人々が、希望通りのクリエイターに出会う契機となることを目的としています。また、デザイン関連のセミナー情報なども発信しています。



<https://tokushima-creators.net/>



X (旧Twitter)
<https://x.com/TokushimaCre>



facebook
<https://www.facebook.com/tokushimacreatorslibrary>

INTERVIEW

映像クリエイター

梅岡 圭太郎さん

地方の映像クオリティを、全国区に

徳島で活躍する様々なクリエイターを紹介するウェブサイト『徳島クリエイターズ・ライブラリ』。こちらのページでは『徳島クリエイターズ・ライブラリ』の登録クリエイターのインタビュー記事をお届けします。

徳島市にある株式会社オリジナルは、いわゆる広告代理店。一般的な広告代理店は“広告を販売する”ことが主な仕事ですが、同社は広告にまつわるデザインや映像などを制作するクリエイティブ集団としての色を強く持っています。中でも近年特に注力しているのが映像制作です。全国区の映像クオリティを徳島に持ち込もうとしている代表の梅岡さんにお話を伺いました。

梅岡さんが本格的に映像制作に取り組むきっかけとなったのは、2014年のこと。

「僕が当時所属していた徳島青年会議所でお遍路をテーマにした映画を制作することになって、『佳歩』という映画ですが、その作品を作ったのがきっかけでしたね。その頃はまだまだ知識も機材もスキルも不足していましたので、協力してくれていた東京の映像クリエイターの仕事を見ていろいろ学ばせてもらいました。今では仕事でも関わらせてもらっている徳島国際映画祭にも、最初はボランティアスタッフとして参加して、映像について勉強させてもらっていたんですよ」

当時は脚本からロケハン、撮影、編集まで、映像制作の過程の多くを自身でこなしていたという梅岡さん。今ではCGを扱えるプロフェッショナルなど、映像制作のための社員が増えてきたため、梅岡さんは映像全体の企画構成を練るプロデューサーとしての役割に専念することが多くなったのだそう。

最も大切なのは問題点を解決するプランニング

「僕らはずっとグラフィックデザインをやってきた会社ですから、そのスキルを生かした映像制作ができています。例えば、キャッチコピー。紙媒体など平面のデザインではそれ以上の奥行きがないですから、コピーの強さがとても

重要です。そのあたりの経験の差が、映像だけをやってきた会社との違いですね」

映画から始まった梅岡さんの映像制作ですが、既存のスキルも活かしつつ、現在は行政機関や民間企業のPR動画の制作を多く手掛けています。映像制作の過程では、外部の専門スタッフに依頼する部分もあるようですが、最も大事な作業は必ず自分自身で行うと梅岡さんは言います。



「映像制作で一番大事なものは、最初のプランニングです。そのプランニングのために必要なのは、ヒアリングを重ねて、映像によって解決すべきクライアントの問題点を洗い出してあげること。クライアントが“伝えたいこと”だけに終始する映像になってしまっただけで、その奥に隠れている問題点を解決する映像作品でなければ意味がありません。だから、僕の映像クリエイターとしての一番の仕事は映像の企画を練るプランニングなんですよ」



徳島でも高クオリティな映像制作ができると思ってほしい

「良い企画ができれば、あとはピースを当てはめていくだけ」と梅岡さん。出演者のキャスティングや、必要な技術者のアサインも、梅岡さんの仕事です。

最後に、映像クリエイターとしての今後の目標を伺いました。

「まずは、徳島でもこれだけのクオリティで映像制作ができるんだということを知ってもらいたいですね。そして、企業のCMも含め、地方から発信される映像の質を東京クオリティに負けないように高めていきたいと思います」

「映像クリエイターとしては、まだ成長過程の28歳くらいの気分」だと言う梅岡さんの、次なる作品を楽しみに待ちましよう！

アジア展望

上海事務所だより

山田 寛之

(公財)とくしま産業振興機構
上海事務所 所長

「2023年 安徽省国際商協会大会」に参加

9月初旬、上海国際商会の手配により、上海市の西部に位置する安徽省で開催された「2023年 安徽省国際商協会大会」に参加しました。中国国内外から多くの関係者が参加した大会の様様について報告いたします。

安徽省統計局等の資料によると、安徽省の面積は約14万km²（徳島県の30倍以上）、2021年末時点の人口は約6100万人（90倍近く）。2021年の域内総生産は約4兆3000億元（約86兆円、1元＝20円で計算）、これは5年前、2016年の2兆4400億元に比べて2倍近くに増加しています。

上海から省都の合肥市までは高速鉄道（日本の新幹線にあたります）で西に向かって3時間程度。省内には当地文化発祥の地と言われる黄山、アミューズメント施設が充実した蕪湖、古い街並みが並ぶ宏村などがあり、観光シーズンには多くの人々が訪れます。

「商協会」は日本の商工会議所にあたる組織で、中国では省や市の単位のほか、商協会同士による連合体もあります。例えば、今回手配いただいた「上海国際商会」は上海市の商工会議所として政府とともに国内外との経済振興を図る組織ですが、3年前には江蘇省、浙江省および安徽省の商協会とともに「長江デルタ地区国際商協会」を設立、相互に連携した事業にも取り組んでいます。

合肥市内で開催された今回の国際商協会大会は2年前に続いて2回目の開催。安徽省をはじめとする中国各地の商協会関係者や政府関連機関、企業、報道機関などに加え、中国に拠点を置く海外の政府機関や経済団体などから500名ほどが参加しました。

冒頭、安徽省人民政府の王清究省長は今年1月から7月までの製造業投資が前年同期に比べて2割以上、対外貿易が12%上昇しているといった実績や、東西・南北をつなぐ高速鉄道や高速道路といった交通インフラなど、安徽省の優位性をアピールするとともに、国内外の商協会や関連団体との連携促進および投資企業に向けた支援の実施などについて発言がありました。

引き続き、全国組織である中国国際貿易促進委員会や前述の長江デルタ地区国際商協会の代表を務める江蘇省貿易促進委員会などの国内組織に加え、韓国、ドイツ、イギリスといった海外機関からも貿易促進に向けた連携

を深めていきたいという主旨の発表が続き、大会は盛大に終了しました。

筆者が大会内で発言する機会はありませんでしたが、大会終了後は徳島県と友好交流関係にある湖南省の貿易促進委員会・楊愛雲会長にあいさつするほか、ともに上海市内から参加した中国、韓国、フランスといった各国関連団体の皆様と交流することができ、貴重な経験を得る機会となりました。

昨年はゼロコロナ政策に伴う厳しい規制により、中国国内では今回参加したような国内外規模でのフォーラムやセミナー、展示会などは軒並み中止されました。今年は各地で同様の催しが開催されており、コロナ禍前のような交流の機会が今後も増えてくるものと思われます。

今回、発言者がそろって口にしていたのが「交流と連携の促進」でした。新型コロナウイルスの感染拡大で人々が集う機会は激減し、オンラインという手法が常態的になりましたが、中国語で「対面」、フェイストウフェイスでの交流はオンラインを遥かに凌ぐものと考えています。皆様には、ぜひ国内外の交流の機会を活かしていただきたいと存じますし、当地での活動にあたってはお手伝いいたしますので、お気軽にご相談ください。

電話：+86-21-5255-0231

E-Mail：info@tokushima.sh.cn



写真) 国際商協会大会の様様を伝える同地のニュース番組

徳島県企業変革力強化投資促進事業費補助金2次募集開始のお知らせ

エネルギー・原材料コストの高騰にお困りのみなさまへ

徳島県企業変革力強化投資促進事業費補助金

第2次募集
開始!!

中小・小規模事業者の皆様の「経営体質強化」に向けた
「コスト削減」や「生産性向上」のための「前向きな投資」を支援します!

事業イメージ

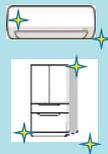
○コスト削減枠



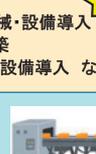
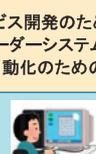
対象設備
・冷給エ
・蔵湯ア
・庫器コン
等



エネルギー
効率の向上



○価値創出枠



・新商品・サービス開発のための機械・設備導入
・POSレジ・オーダーシステムの構築
・生産工程の自動化のための機械・設備導入 など

支援

1 対象者

下表の定める業種ごとのいずれかの要件を満たす県内の中小・小規模事業者

(※)徳島県内に本店の登記を行っている法人又は住民登録を行っている個人事業主

業種	資本金の額又は 出資の総額	常時使用する 従業員の数
①製造業、建設業、 運輸業、その他の業種	3億円以下	300人以下
②卸売業	1億円以下	100人以下
③サービス業	5千万円以下	100人以下
④小売業	5千万円以下	50人以下

2 補助対象事業

- ①コスト削減枠（燃料・電力の消費抑制、原材料・エネルギーコストの削減を図る取組み）
＜具体例＞空調設備・給湯機・ボイラの高効率設備への更新、太陽光発電設備の導入 など
- ②価値創出枠（生産性向上や収益構造強化を図る取組み）※事業経費が100万円超のものに限る
＜具体例＞新商品開発のための機械・設備導入、POSレジ・オーダーシステムの構築、
脱プラ実現やアップサイクルなど環境に配慮した製品開発のための設備導入 など

3 補助率・補助限度額

①コスト削減枠

補助率 : 1/2
補助限度額 : 50万円

②価値創出枠

補助率 : 2/3
補助限度額 : 200万円

4 募集期間（申請締切）

令和5年10月10日（火） から随時

(※)申請額の合計が予算を上回る見込みとなった場合、受付終了となります。

5 事業の流れ



6 注意事項

- 各事業区分ごとに交付申請は1事業者につき1度までとします。
(7月6日から実施した第1次募集に申請し、採択された事業区分については再度申請できません)
- 令和6年1月31日(水)までに完了報告(上記5の⑤の手続き)が可能なものに限りま。

7 問い合わせ先等

企業変革力強化投資促進事業費補助金運営事務局（電話番号：088-602-1220）

本補助金の募集要項、申請様式等についてはHPをご確認下さい。

HPは右のQRコードからアクセスまたは「徳島県 企業変革力 2次募集」でWeb検索して下さい。



(HPへアクセス)